

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	体表解剖学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	機能訓練室
担 当 教 員	山口 祐輝	実務経験と その関連資格	理学療法士として臨床現場にて多岐にわたる疾患や障害に対して、触診技術を基に理学療法を実施していた			
《授業科目における学習内容》						
理学療法士は、患者を直接触察して評価し治療を行う能力が必要である。解剖学や運動学で学んだヒトの立体的（三次元的）構造の位置や動きを知り、触察できなければ、評価や治療はできない。そこで皮膚を通して内部組織を視察・触察する技術を身につけることを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修得試験100％ 授業への参加態度や学習へ向かう姿勢なども場合によって査定対象とする						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
増補改訂第2版 運動療法のための 機能解剖学的触診技術 上肢 動画プラス 増補改訂第2版 運動療法のための 機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 動画プラス						
《授業外における学習方法》						
テキストを参考に、自分の身体を用いて可能な範囲で触診の復習をする。または、学生同士で触診を行うことが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
理学療法を実施する上で、非常に重要な分野です。日ごろより自分の体を使って勉強してください。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる		指定テキスト	事前学習(20分) シラバスを読む 事後学習(40分) 触診の基本について復習
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション、肩関節周囲の筋 触診①				
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる		指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(肩関節周囲) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定	肩関節周囲の筋 触診②				
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる		指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(上腕) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定	上腕部、前腕部の筋 触診③				
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる		指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(前腕) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定	上腕部、前腕部の筋 触診④				
第5回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる		指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(手部) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定	手部の筋 触診⑤				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる	股関節周囲の筋 触診①	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(股関節周囲) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定				
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる	股関節周囲の筋 触診②	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(股関節周囲) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定				
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる	股関節周囲の筋 触診③	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(股関節周囲) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定				
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる	膝関節周囲の筋 触診④	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(膝関節周囲) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定				
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる	膝関節周囲の筋 触診⑤	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(膝関節周囲) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定				
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる	足関節周囲の筋 触診⑥	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(足関節) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定				
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる	足関節周囲の筋 触診⑦	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(足関節) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定				
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる	腹部の筋 触診①	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(腹部) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定				
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ①触診可能な筋を同定し、正しく触れることできる ②筋の起始、停止、作用、神経支配を理解できる	背部の筋 触診②	指定テキスト	事前学習(30分) 解剖の予習(背部) 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定				
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ①.②について振り返り、理解と説明ができる	まとめ 振り返り	指定テキスト	事前学習(30分) 全コマ解剖の予習 事後学習(30分) 実技の復習
	各コマにおける授業予定				